

【ニュースレター】

**子供の防犯対策
～ 子供が巻き込まれる連れ去り事件の傾向 ～**

**子供の犯罪被害件数は減少傾向。しかし、略取・誘拐の被害は減っていない
略取・誘拐被害者の約3割は「小学生」、女の子の被害件数は男の子の約3倍
被害発生場所は道路上が最多。次いで「住宅」での被害が多い**

子供が巻き込まれる悲しい事件が後を絶ちません。子供は小学校入学を機に、子供を預かってもらえる時間が短縮したり、子供の交友関係や行動範囲が広がるといった、生活の変化に伴い、防犯上注意しなければいけない点が変わります。

被害者にならないためには、親だけでなく、子供にも防犯意識をしっかりと身につけさせる必要があります。防犯意識を身に付けさせることは、怖がらせたり、不安に感じさせるのではなく、何が危険でどうしたらその危険から身を守ることができるのかを自分で判断する力を養うことです。

ALSOKでは、小学生以上の子供を持つ保護者に注意してほしい防犯上のポイントをまとめました。

トピックス

1. 統計データから読み解く、子供が巻き込まれる連れ去り事件の傾向・・・P2

- 子供の被害件数の総数は減少傾向だが、「略取・誘拐」は横ばい
- 略取・誘拐被害者の約3割は「小学生」、女の子の被害件数は男の子の約3倍
- 被害発生場所は道路上が最多。次いで「住宅」での被害が多い
- 知っておきたい略取・誘拐の実態

2. 親子で注意したい 6つの防犯対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5

- (1) 持ち物に名前を書くときは見えない場所に
- (2) 防犯ブザーは「通学用」と「外出用」の複数個を用意する
【コラム】防犯ブザーを選ぶ際の4つのポイント
- (3) 防犯ブザーを持つときの3つの約束を教える
- (4) 町に潜む危険な場所を、親子で確認し、話し合う
- (5) 通学、外出時の約束「いかのおすし」を教える
- (6) 留守番前の約束「いいゆだな」を教える

3. おすすめの商品・サービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P9

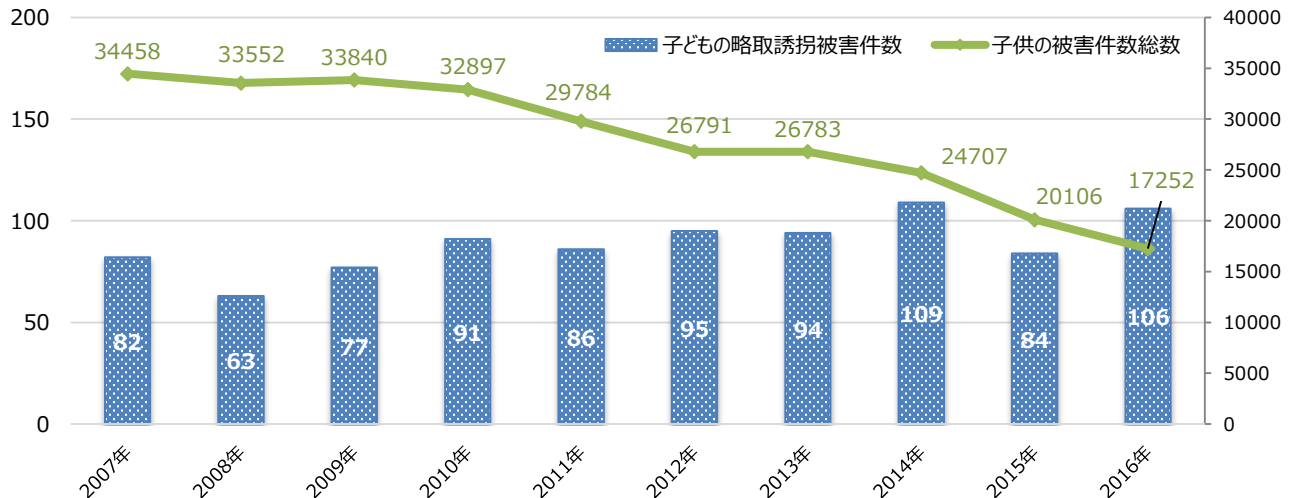
＜本件に関する問い合わせ＞
ALSOK広報部
Tel. 03-3478-2310 E-mail koho@alsok.co.jp

1. 子供が被害者となる犯罪の総数は減少傾向にあるが、「略取・誘拐」は横ばい

「平成29年警察白書」によると、13歳未満の子供が被害者となった刑法犯の認知件数は、2001年の39,934件をピークに減少傾向しており、2016年は17,252件と、前年より2,854件（14.2%）減少しました。

しかし、「略取・誘拐」の認知件数を見ると、過去10年を通じてほぼ横ばいの状態となっており、2016年においては、およそ**「4日に1件」のペースで被害が発生**しています。

子供（13歳未満）の被害件数および略取・誘拐被害件数の推移（2007年～2016年）



2016年は、およそ4日に1件のペースで、略取・誘拐被害が発生

出典：警察庁「平成28年警察白書」（2016年）をもとに作成

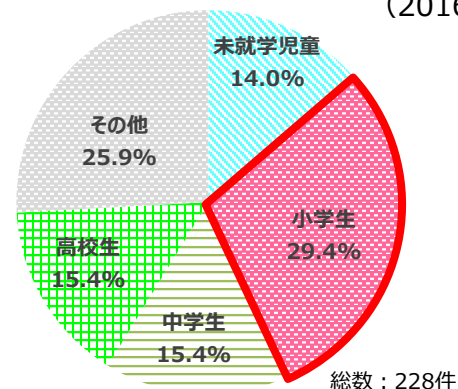
2. 略取・誘拐被害者のうち、最も多いのは「小学生」

「略取・誘拐」は、刑法犯の中でも子供が被害者となる割合が高い特徴があり、2016年は「小学生」の被害が最も多かったようです。

小学校への進学を機に子供ひとりで行動する機会がぐっと増えますので、子供に「自分で自分の身を守る」意識を持たせておくことは非常に重要であるといえるでしょう。

また、人口比率を考慮すると、中学生、高校生の世代も、小学生と同程度の被害が発生している現状が見てとれます。「もう大きくなったから」といって安心するのは禁物といえるでしょう。

略取誘拐・人身売買 被害者の職業別認知件数（2016年）



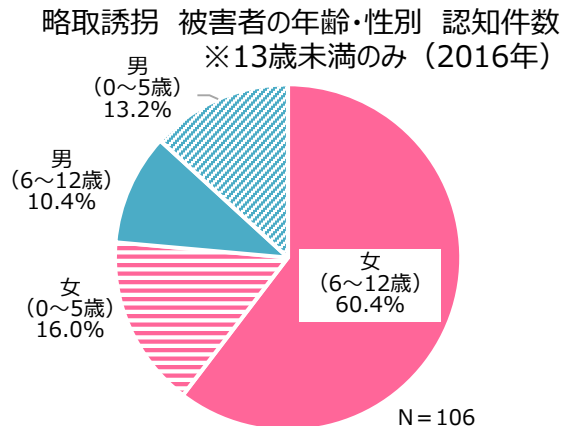
**略取・誘拐被害者の約3割は「小学生」
中学生、高校生の被害も多い**

出典：警察庁「平成28年の犯罪」（2017年）をもとに作成

3. 被害に遭った子供の性別は、3 : 1の比率で女の子が多い

略取・誘拐被害者（13歳未満）の年齢・性別を見ると、3 : 1の割合で女の子の被害が多いことがわかります。

**女の子の被害件数は
男の子の約3倍。**



出典：警察庁「平成28年の犯罪」（2017年）をもとに作成

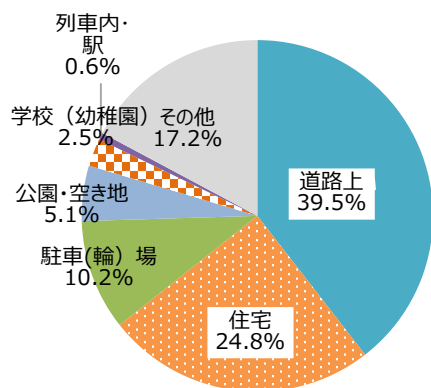
4. 略取・誘拐被害の発生場所は、「道路上」に次いで「住宅」が多い

2016年に少年（20歳未満）が略取・誘拐被害に遭った場所は、次の通りとなっています。

「道路上」での被害が最も多いので、特に通学経験の浅い小学校1年生には、一緒に通学路を歩きながら、注意が必要な場所や、緊急時の避難場所などについて教えておくことが大切です。

特に犯罪者が好む場所と言われているのが、「入りやすい場所」かつ「見えにくい場所」です。誰にも怪しまれることなく子供に接近でき、犯行に及んでも目撃されにくい場所、さらに助けを求めても誰にも声が届かない状況にあるときは、特に注意して行動するよう子供に教えておきましょう。

略取・誘拐 場所別被害発生状況（2016年）
※20歳未満



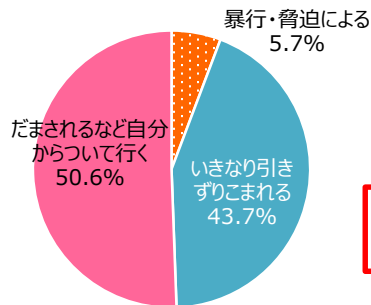
また、「道路上」に次いで連れ去り被害が数多く発生しているのが「住宅」です。家の中は安全と思われがちですが、留守番時などに犯行者の侵入を許してしまうと、非常に危険な空間となってしまいます。

子供に留守番を任せる場合は、戸締りを徹底させるとともに、訪問者が来たかどうかなどの約束を交わしておくことが大切です。また、子供ひとりで留守番していることを周囲に悟られてしまうような行動もリスクにつながるため、親子で注意しましょう。

**通学路の危険箇所をチェックし、子供と共有しておくことが大切。
自宅で被害に遭う子供も多いので、留守番時にも注意が必要。**

5. 知っておきたい略取・誘拐の実態

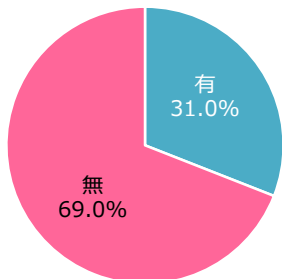
①略取・誘拐事案 既遂の要因（2003年1/1～10/15に発生した既遂の87件）



**被害者の約半数は
自分の意思でついて行ってしまった。**

防犯ブザーを持っていたとしても使おうとしなければ意味がないので、「だまされない子」に育てる教育が重要。

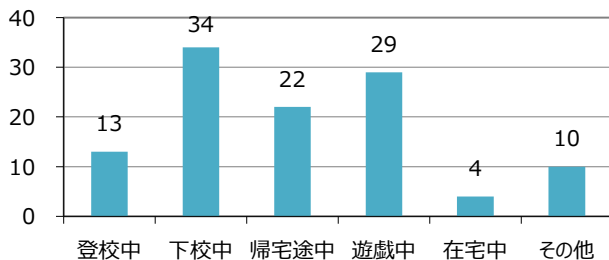
②略取・誘拐事案 発生状況 同行者の有無（2003年1/1～10/15に発生した126件）



子供が1人にいるときほど標的になりやすい。

**なるべく1人で外出しない（させない）ようにする。
1人にいるときほど周囲に注意を払うように教える。**

③略取・誘拐事案 被害に遭ったときの行動（2003年1/1～10/15に就学児が被害に遭った事案108件）

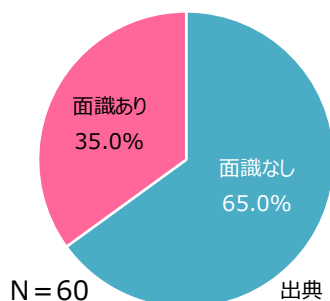


**通学時のみならず、その他の状況下でも
多くの被害が発生している。**

いかなる時も防犯ブザーなどを所持する習慣を！

出典：①～③警察庁「子どもを対象とする略取誘拐事案の発生状況の概要」（2003年）
※15歳以下の子供が被害者となった事案

④小学生の略取・誘拐 被疑者と被害者の関係別 検挙件数（2016年）



被害者の3人に1人は、面識のある人物に連れ去られている。

公教育では、子供に「人を安易に信用してはいけない」と指導するのは難しい。地域や家庭の実情、子供の成長段階に即した防犯コミュニケーションを親子間で積み重ねることで、適切な防犯感覚を身につけさせることが大切。

出典：警察庁「平成28年の犯罪情勢」

1. 持ち物に名前を書くときは他人から見えない場所に
2. 防犯ブザーは「通学用」と「外出用」の複数個を用意する
3. 防犯ブザーを持つときの「3つの約束」を教える
4. 町に潜む危険な場所を、親子で確認し、話し合う
5. 通学・外出時の約束「いかのおすし」を教える
6. 留守番前の約束「いいゆだな」を教える

1. 持ち物に名前を書くときは他人から見えない場所に

「知らない人についていけない」と分かっているにもかかわらず、自分の名前呼び掛けられることで警戒心が薄れてしまう場合があります。そのようなリスクを減らすためにも、**持ち物に名前を書く場合は他人から見えない裏側に書く**など、簡単に名前を知られてしまわない工夫をしましょう。

また、過去には玄関先に置かれた傘などの物品から子供の名前を知られてしまった事例があります。家の周りにも子供の名前を知る手がかりとなるような物を置かないよう注意しましょう。

2. 防犯ブザーは「通学用」と「外出用」の複数個を用意する

放課後や休日の外出など、通学時以外の状況下でも犯罪に巻き込まれてしまうケースがあるため、防犯ブザーは常に持ち歩く習慣をつけておくのがよいでしょう。

1つの防犯ブザーを、出かけるたびにランドセルから取り外して使用する方法だと、面倒なうえに、外し忘れや着け忘れが多くなってしまいがちです。**常時ランドセルにつけておく「通学用」と、それ以外の「外出用」の複数個を用意しておくのがよいでしょう。**

防犯ブザーを選ぶ際の4つのポイント

● 子供でも鳴らしやすいか

いざという時にすぐに鳴らせないと意味がありません。子供の力でも無理なく鳴らせる引き紐タイプか、押しボタンタイプがおすすめです。

● 十分な音量が出るか

1メートル離れた位置から計測して85dB以上の音量が出るものであれば十分です。ただし、電池が消耗してくると音が小さくなるので、月に一度は保護者がチェックするようにしましょう。

● 見えやすく 使いやすい所に装着できるか

ブザーを装着していることが一目でわかることで、犯罪抑止効果が期待できます。使いやすさに加え持ち忘れにくいことを考慮するなら、ランドセルのベルトに装着しやすいタイプがよいでしょう。ブザー装着用金具のついていないランドセルには、後付け可能なブザー専用の吊りベルトを使えば装着が可能です。

● 壊れにくい

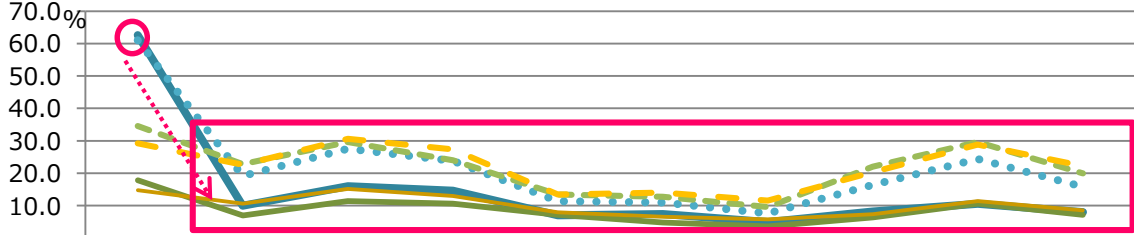
雨に濡れたり、落下させてしまうことでブザーが壊れてしまう場合があります。できるだけ防水性能、耐衝撃性能の備わったブザーを選ぶとよいでしょう。

2 親子で注意したい 6つの防犯対策

参考資料

2017年7月に小学生の子供を持つ働く母親を対象に実施した、ALSOK「小学生と母親の安全に関する意識調査」では、登下校時に防犯ブザーを持ち歩いている子供は62.6%でしたが、帰宅後や休日にも持ち歩くとすると、ぐっと数が減少し、最も所持率の高かった「放課後、近所の公園や友達の家に遊びに行くとき」でも、16.0%にとどまりました。

Q.あなたは、どんな場合・シーンで子供に、防犯ブザー/GPS付き通報装置/GPS付き携帯電話を持たせていますか。また、持たせようと思いますか。(複数回答、回答者500人)



		登下校時	放課後、繁華街やショッピングセンターへ行くとき	放課後、近所の公園や友達の家に遊びに行くとき	放課後、お稽古事や塾へ行くとき	休日、一緒に繁華街やショッピングセンターへ行くとき	休日、一緒に近所の公園や友達の家へ行くとき	休日、一緒にお稽古事や塾へ行くとき	休日、子どもだけで繁華街やショッピングセンターへ行くとき	休日、子どもだけで近所の公園や友達の家に行くとき	休日、子どもだけでお稽古事へ行くとき
歩いている	防犯ブザー	62.6	10.0	16.0	14.6	7.0	7.4	5.0	8.2	10.6	8.0
	GPS付き通報装置	17.8	7.0	11.4	10.6	7.2	4.8	3.6	6.4	10.6	7.2
	GPS付き携帯電話	14.8	10.6	15.2	13.0	8.0	6.6	5.8	7.4	11.4	8.6
持たせようと思う	防犯ブザー	61.0	19.2	27.6	23.8	11.4	11.0	7.6	16.4	24.4	15.8
	GPS付き通報装置	34.6	22.8	29.6	24.0	13.4	12.8	9.6	22.0	29.6	20.0
	GPS付き携帯電話	29.2	22.6	30.6	27.4	13.4	14.0	11.6	20.4	28.8	22.2

3. 防犯ブザーを持つときの3つの約束を教える

防犯ブザーを持つとき、使うときには、以下の3つの約束を守るように教えましょう。
また、緊急時に適切に使えるよう、持ち始めるときはもちろん、定期的に使い方の練習をしておきましょう。

防犯ブザーを持つときの、3つの約束

- ① すぐに鳴らせる場所につけておく
- ② 遊びでは絶対に鳴らさない
- ③ 鳴らしたらすぐ逃げる



2 親子で注意したい 6つの防犯対策

4. 町に潜む危険な場所を、親子で確認し、話し合う

例えば、人があまり通らない薄暗い道や、木が生い茂った公園など、〈まわりから見えにくい場所〉で〈誰もが入りやすい場所〉は、子供を狙う人物がいても怪しまれず、助けを呼んでもわかりにくいので、危険な場所と言えます。また、駐車場では、無理やり車に連れ込まれたり、車にひかれてしまう危険もあります。

こういった場所で一人で遊んだりしないように、実際に親子で子供の行動範囲を歩きながら確認し、もしそういう場所を通らなければならないときは、どういうことに注意すればよいか、どこに逃げればいいのかを話し合っておきましょう。



5. 通学・外出時の約束「いかのおすし」を教える

いか

どんなに優しくそうな人でも、たとえどんなことを言われても
知らない人についていかない。

の

知らない人の車には絶対にのらない。

無理やり連れ込まれることもあるので、話しかけられたら2メートル以上離れる。怪しいと思ったら、車の進行方向と逆の方向に逃げる。

お

おおごえを出して助けを呼ぶ。

危険なときは大きな声で「たすけて！」と叫ぶ。または、防犯ブザーを鳴らす。

す

安全なところまですぐ逃げる。

コンビニなどのお店や110番の家など、一番近くにある明るくて大人がいるところに向かって逃げる。

し

すぐにおうちの人に知らせる。

危険な目に遭ったり、怖いことを見たら、すぐに保護者に知らせる。保護者と話ができないときは、近くにいる大人に知らせる。

※「いかのおすし」は、警視庁が考案した防犯覚え言葉です。

6. 留守番前の約束「いいゆだな」を教える

低学年のうちから留守番を任せる機会は少ないかもしれませんが、留守番中の子供を狙った犯罪も少なくありません。被害を防ぐためのポイントは、犯行者に「家に保護者がいるかもしれない」と思わせることです。そのためには、学校や外出先から家に帰るとき、すなわち「留守番する前」から気をつけておくべき約束があります。ALSOKでは、この約束を「いいゆだな」という覚え言葉にして小学生に教えています。

い

えのカギを見せない

これから留守番することがわかってしまうので、家に着くまではカギは人から見えないところにしまっておく。

い

えのまわりをよく見る

家の近くに人が隠れていないか、または尾行されていないか、家に入る前に確認する。

ゆ

うびん受けをチェック

郵便受けがいっぱいだと、空き巣が家に誰もいないと思って入ってきてしまうかもしれない。留守番前に取り込むようにする。

だ

れもいなくても「ただいま！」

家の中に家族がいるように見せかけ、子供だけで留守番していると悟られないようにする。

な

かに入ったらすぐ戸締り

カギが開いていたら、悪い人が入ってきてしまうかもしれない。玄関だけでなく、家全体の戸締りを確認してから留守番を開始する。

小学校低学年くらいだと、カギの使い方に不慣れなため、玄関扉の開錠に手間取ってしまう子が多いものです。玄関先で手間取っていると、これから留守番するということがばれてしまったり、背後が無防備になってしまったりと、防犯上よろしくありません。留守番を任せる前には、カギの開け方の練習をしておくこともおすすめします。

まもるっく

「まもるっく」は屋外での見守りを実現したセキュリティサービスです。
 トラブル時の駆けつけはもちろん、事前に連絡先を登録することで家族間での安否確認を行うことも出来ます。

POINT 1
**ボタン1つで
 緊急通報可能**

すぐに来て！

体調不良、不審者に遭遇した場合は真ん中のボタンを押すだけ。必要に応じてガードマンが駆けつけます。(有償)

POINT 2
**スマホやPCによる
 位置検索が無料**

どこにいるの？

現在位置や設定した時刻の位置情報の取得等の位置情報検索が何回でも無料で出来ます。

POINT 3
**ハンズフリーによる
 通話機能**

大丈夫？

ハンズフリーで予め登録した番号との着信通話が可能です。



まもるっくの料金プランは2種類。位置情報検索は回数無制限で料金を気にせずにご利用いただけます。

**お買い上げ
 プラン**
月額 1,100円 (税別)
 初期設定費用: 4,500円 (税別)
 契約期間: 2年
 機種代金: 21,500円 (税別)

**レンタル
 プラン**
月額 2,000円 (税別)
 初期設定費用: 4,500円 (税別)
 契約期間: 2年

利用した場合に料金が **かけつけ料金** **1回につき 6,000円** (税別) / 1時間
 ※延長含め最大3時間まで



モバイルみまもりセキュリティ
まもるっく

ALSOKならではの「見まもり」「かけつけ」サービス(全国約2,400カ所の待機所から出動)

防犯ブザー



防犯ブザー 防滴タイプ

音量: 90dB / 前方1メートル
 重さ: 約37グラム (電池含む)
 価格: 1,112円 (税別)
 使用電源: アルカリボタン電池
 (LR44または同規格のもの) × 3個
 外形寸法: W50×D33×H50mm (突起部含まず)
 付属品: アルカリボタン電池 3個、フック、ベルト、ストラップ、
 名札シート



防犯ブザー用「ブザーつつり2」
 防犯ブザーをランドセル背負いベルトの胸の辺りに付ける商品。中央に反射板がついており、夜道でも目立ちます。ベルトはマジックテープ式なので、おけいこ用かばんへの着脱も簡単にできます。

大きさ: 6×22センチ
 色: 黄色、青
 価格: 600円 (税別)

ネットワークカメラ

家庭用防犯カメラ
**「IPカメラ(デイ&ナイト)
 Viewla IPC-06HD」**
 ALSOKロゴ入り



サイズ: 100×65×21mm (130g)
 接続方式: 有線・無線LAN対応
 (b/g/n)
 最大解像度: 1280×800(WXGA)
 価格: 18,519円 (税別)

赤外線で暗闇にも対応したメガピクセルカメラ (100万画素)。
 無料の専用アプリを使えば、自宅のWi-Fi回線を通じ、いつでも、どこからでもスマートフォンなどで映像を確認することができます。

また、お子様の帰宅をセンサーが検知し、メールでお知らせすることもできます。
 双方向通話機能があり、カメラとスマホ間で会話することも可能です。

専用ステッカーが付属します→
 サイズ: 約9cm × 約7cm

